

恩納村博物館講座「トウツルモドキでカゴ作り」 参加者募集

博物館の特色ある講座の一環として、代表的な民具であるカゴ作りの講座を開催します。以前までは竹を材料にしてバーキやカゴ作りを行っていましたが、村内で採取できる他の植物にも目を向け、村内の植生や植物利用に対する興味関心を深めていただけるよう、今回は「トウツルモドキ」という植物を使ってカゴ作りを行います。

講座では講師の方々の指導の下、材料を加工し、カゴを編んでいく一連の工程を実際に体験しながら、カゴの完成を目指します。



開催日 11月25日(土)、26日(日)の2日間 9時30分～16時30分

場所 恩納村博物館1階ピロティ

対象 18歳以上の村内在住、在勤者

定員 10名(申込み多数の場合は抽選、11月21日頃までに参加可否の連絡をします)

募集期間 11月8日(水)～19日(日)17時まで

申込み 申込みフォーム、電話又は直接

参加費 50円(予定、2日間の保険料として当日徴収)

持ち物 小型のナタ(お持ちの方)、マイナスドライバー、剪定ばさみ

講師 きのした よしのぶ 木下 義宣 氏(山原ものづくり塾)ほか



申込みフォーム
<https://togoform.jp/CKUAI>

トウツルモドキとは？

トウツルモドキ科の蔓(つる)性の低木です。奄美大島以南の琉球列島に生育しており、台湾や中国南部～東南アジアにも分布しています。高さは10mにも達し、茎は緑色をしており、細い竹のような感じです。

昔から茎を結束用の紐に使ったり、編み物の素材として使ったほか、儀式の際に神女が頭に巻くなどにも用いられました。



トウツルモドキの茎と葉



トウツルモドキの実

お問い合わせ：恩納村博物館 ☎982-5112